紙請求書削減に向けた
SBN利用促進説明会資料

本資料は、更新日(改訂履歴に記載)現在の検討状況を基に作成したものであり、記載の内容、
名称等が変更される場合があることについてご了承願います。
※SAP Business Network（旧Ariba Network）は本資料においては「SBN」と記載いたします

株式会社NTT ExCパートナー

NTT ExCパートナー © NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

アジェンダ

No.	内容	スライドページ
0	説明会資料における用語について	4
1	システム等の概要	5
	（１）グループ共通IT（調達）に関する概要	6
	（２）SBNを利用した購買プロセスフロー	7
	（３）契約締結方式について	8
2	紙請求書削減に向けて	9
	（１）紙請求書の状況	10-12
	（２）紙請求書削減のためのこれまでの取り組みの紹介	13
	（３）紙請求書の実態（サプライヤからの声）	14
	（４）紙請求書削減のお願い	15
3	各種マニュアル等掲載・問合せ方法のご案内	17-22
4	質疑・応答	23-24

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

説明会資料における用語について

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

説明会資料における用語について

- 本資料にて使用する用語は以下のとおり整理いたします。

#	用語	説明
1	SBN	SAP Business Networkの略称（サプライヤ側のシステム）
2	オンライン	SBN内で見積～請求の一連の作業（取引）を行うこと
3	オフライン	SBN外で見積～請求の一連の作業（取引）を行うこと
4	オンラインサプライヤ	SBNを利用するIDを持っているサプライヤ
5	オフラインサプライヤ	SBNを利用するIDを持っていないサプライヤ

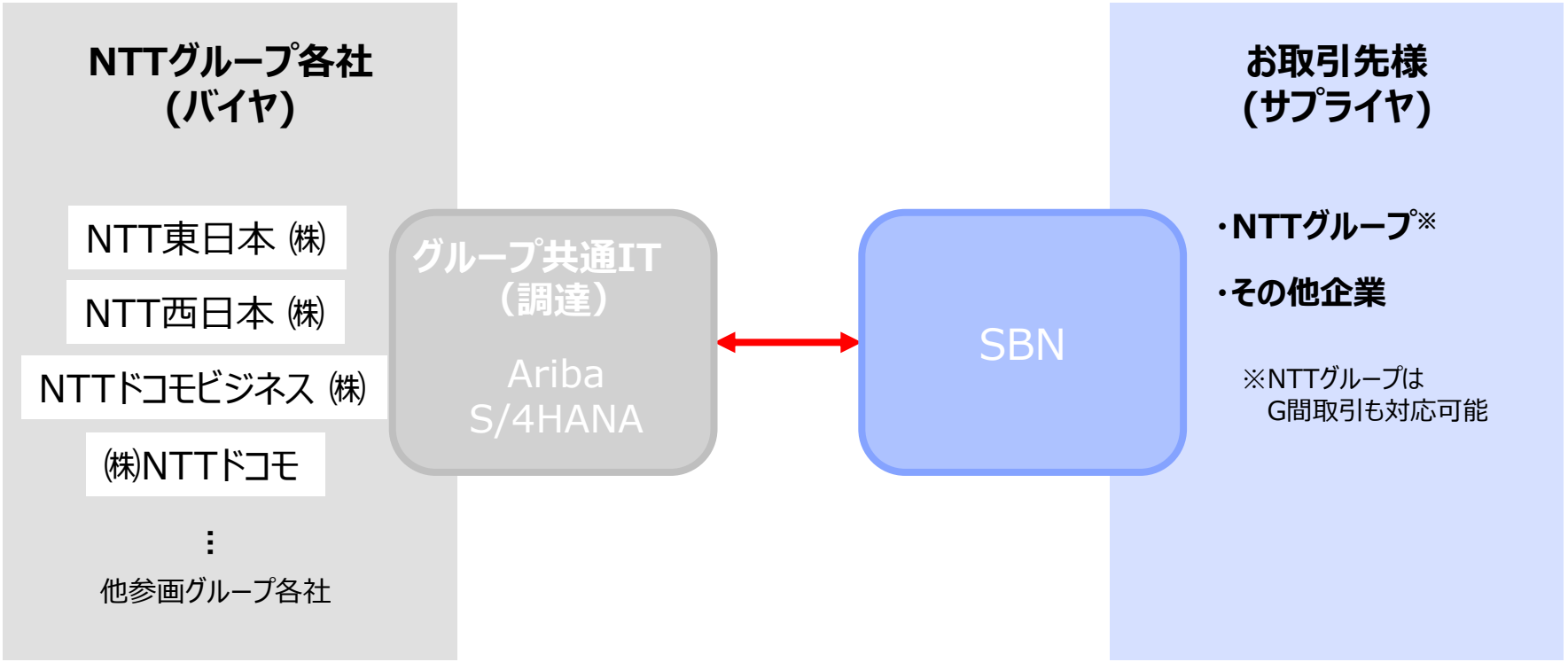
© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

システム等の概要

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

1-1.グループ共通IT（調達）に関する概要

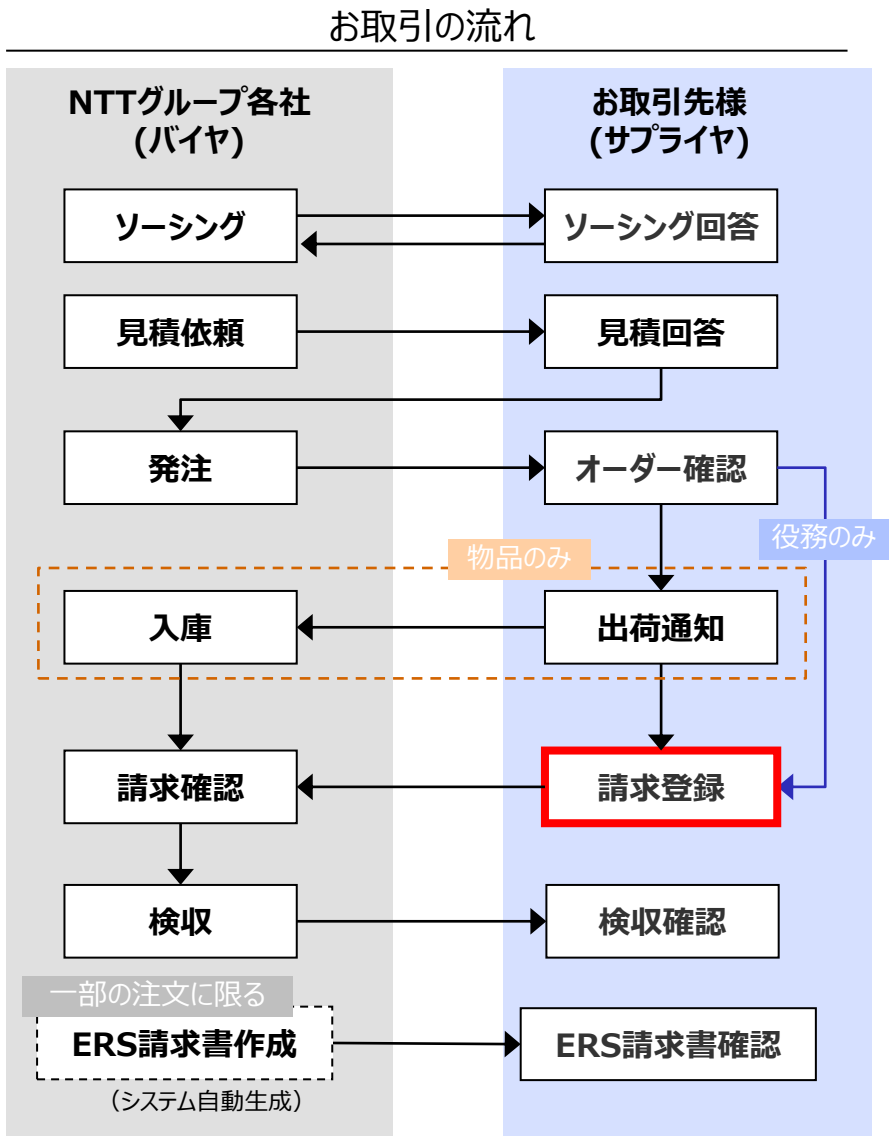
- グループ共通IT（調達）を利用しているNTTグループとのお取引を、SBNを利用して見積・発注・検収・請求の一連の作業を実現いたします。



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

1-2.SBNを利用した購買プロセスフロー

- SBNを利用した購買プロセスフローは以下のとおりです。



サプライヤの操作内容

ソーシング回答	バイヤとサプライヤ間での購買相談を実施します。
見積回答	見積依頼/回答のやり取りを実施します。 統一見積様式利用のご協力をお願いします。
オーダー確認	注文書内容を確認後、「オーダー確認」を実施して受注連絡をします。
出荷通知	「出荷通知」を実施して、出荷日・配達日の情報を連絡します。 出荷があるサービス（物品）が対象です。
請求登録	注文情報を参照し、「請求登録」を実施します。
検収通知	バイヤ側で検収されたか検収状況を確認できます。
ERS請求書確認	バイヤ側で自動生成された請求書を確認できます。 ※一部の注文(SAP S/4 HANA）に限る

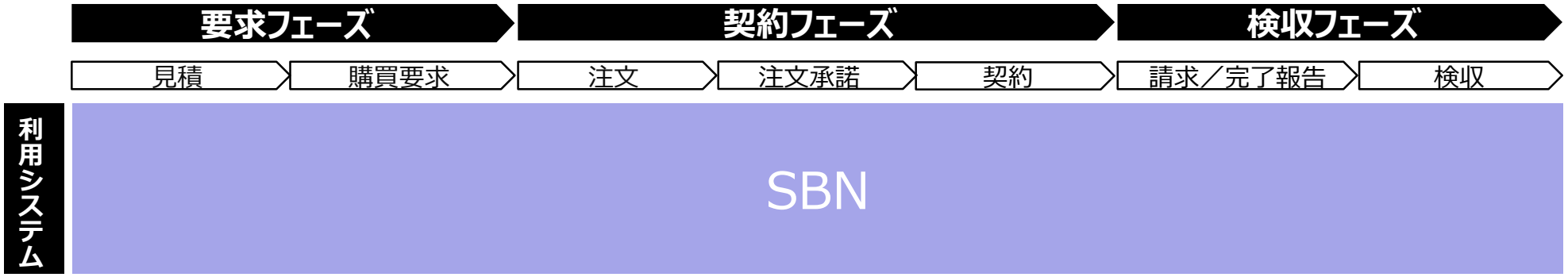
原則すべての工程を電子化して実施

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

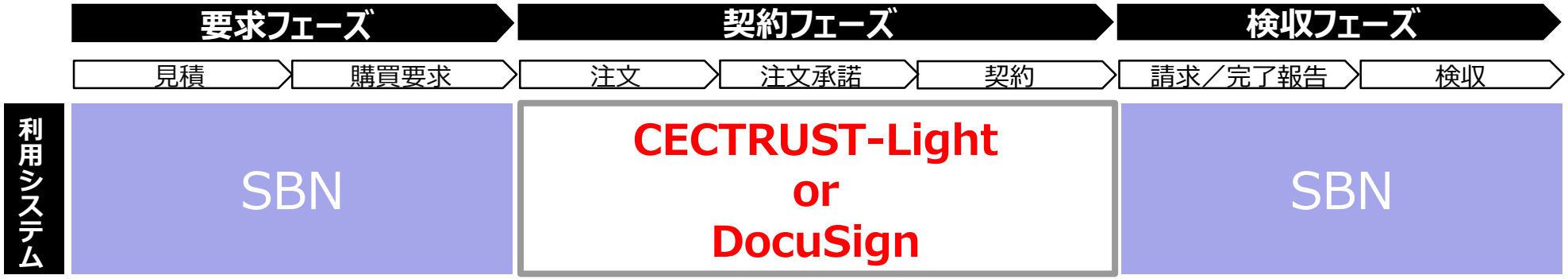
1-3.契約締結方式について

- グループ共通IT（調達）を利用しているNTTグループとのお取引については、原則として全てのプロセスにおいてSBNを利用した契約となります。
- ただし、建業法対象工事に該当するお取引等については、契約フェーズのみCECTRUST-Lightもしくは DocuSignでの契約が可能です。

■通常のお取引



■建業法対象工事に該当するお取引など



※ CECTRUST-Light：株式会社コンストラクション・イーシー・ドットコムが提供する電子契約サービス
※ DocuSign：DocuSign, Inc.が提供する電子契約サービス

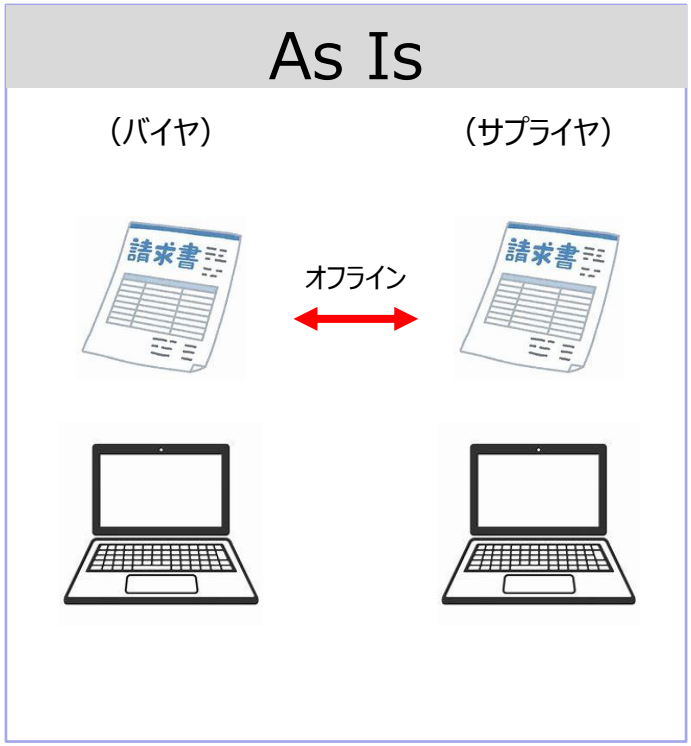
© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

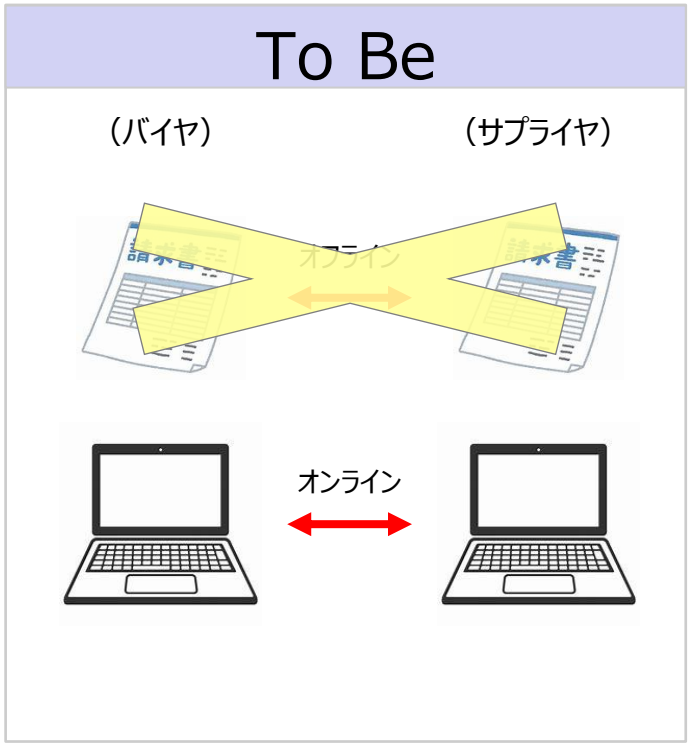
紙請求書削減に向けて

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2-1.紙請求書の状況

- 本説明会では、システムリリースから1年経過した現状で、サプライヤの皆様にオンライン化＝紙削減（特に紙請求書削減）について、オンラインサプライヤのみなさまに改めてご理解の上、ご協力いただくことを目的としています。
- オンライン化により、バイヤ/サプライヤ相互にリアルタイム性、セキュリティ面、稼働面等から利便性を向上させることが可能と考えております。

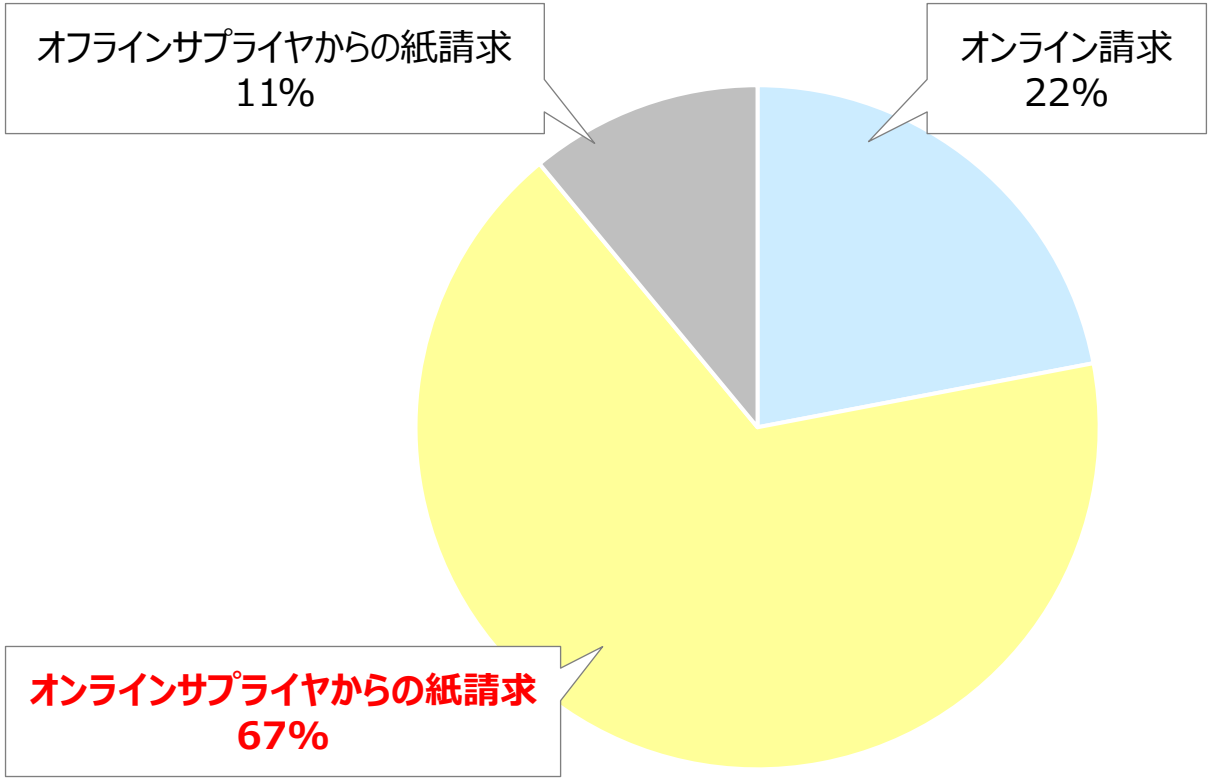




© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2-1.紙請求書の状況

- グループ共通IT（調達）全体の過去の検収データから請求・支払処理の運用状況を確認した結果、本来であればオンラインで対応できるはずのバイヤ/サプライヤ間の処理の内、紙の対応（オフライン）が多くを占めていることが判明いたしました。



（ 2023.4～2024.2サンプルデータより）

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2-1.紙請求書の状況

- 昨年度（2023年度）サプライヤからNTTビジネスアソシエ東日本（NTT東日本・NTTコミュニケーションズ契約担当）に送付された紙請求書の状況は以下のとおりでした。

区分	2023.4	2023.5	2023.6	2023.7	2023.8	2023.9	2023.10	2023.11	2023.12	2024.1	2024.2	2024.3	不明	合計
オンライン サプライヤ	1,560	2,425	2,707	2,574	2,404	2,514	2,425	2,304	2,242	2,167	1,837	1,531	659	**27,349**
オフライン サプライヤ	7	240	601	575	523	562	549	497	517	494	454	542	54	5,915
合計	1,567	2,665	3,308	3,149	2,927	3,076	2,974	2,801	2,759	2,661	2,2	73	1,013	**33,264**

- ✓ 年間3万件以上の紙請求書を送付いただいています。
- ✓ オンラインサプライヤからのものは82%を占めています。
- ✓ 件数の中には、オンライン処理をしているが重複して紙請求書を送付いただいているものもあると聞いています。

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2-2.紙請求書削減に向けたこれまでの取り組みの紹介

- 昨年度NTTグループでは、サプライヤに対してオンライン化および紙請求削減の徹底を下記の通り、働きかけてきました。

内容	詳細
幹部等への個別依頼	面識のあるサプライヤ（主にNTTグループサプライヤ）に対して、対面またはメールにて以下を依頼 ・請求処理のオンライン化、紙請求書削減 ・やむを得ず紙請求書送付時はPO番号記載
SBN管理者への依頼①	送付実績のあるサプライヤへメールにて以下を依頼 ・請求処理のオンライン化、紙請求書削減 ・やむを得ず紙請求書送付時はPO番号記載
SBN管理者への依頼②	送付件数が特に多いサプライヤ数社に限定しメールにて以下を依頼 ・請求処理のオンライン化、紙請求書削減 ・やむを得ず紙請求書送付時はPO番号記載
SBN管理者等へヒアリング	送付件数の多いサプライヤ数社へ個別にヒアリングを実施し実態把握
＜番外編＞ バイヤ社内への啓発	各案件担当者へのオンライン化徹底の事務連絡等による周知

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2-3.紙請求書送付の実態（サプライヤからの声）

- 前述の働きかけ等から、紙請求書を送付している理由には以下のようなものがあることが確認できました。

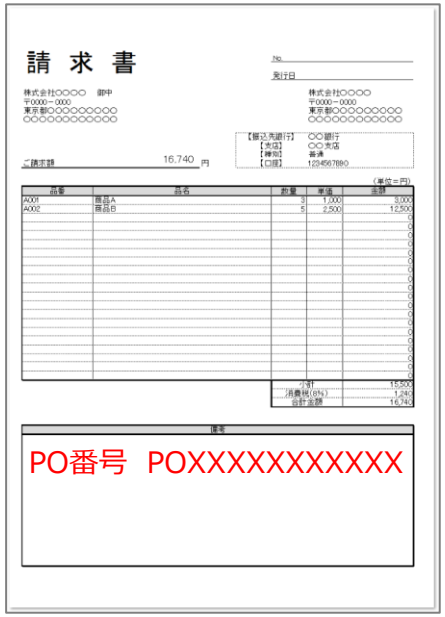
#	理由	サプライヤからの声	紙請求書削減に向けた取り組み
1	システム導入前から締結している契約	システム導入以前から契約締結している案件であり、システムにデータ移行されておらず紙請求書での対応が必要である。	
2	バイヤ案件担当者からの要望・依頼	バイヤ案件担当者から紙請求書送付の依頼がある。	バイヤ社内にて更なる啓発活動。
3	自社独自経理システムにて請求書が自動発行	独自経理システムで請求書が自動発行されるため発送している。	SBNの請求登録時に請求書の添付が可能。 請求書発行、送付の流れについて確認をお願いします。
4	請求処理は業務委託している	請求処理は業務委託しており委託先ではオンライン対応できないと認識している。	業務委託先が代理でSBNを利用することも可能。 業務委託先と確認をお願いします。
5	オンラインでの請求処理方法がわからない	システムでの請求処理（契約事務処理全般）の方法がよくわからないため従来通りで対応している。	各種説明資料（HP掲載情報）を確認しオンライン化への切り替えをお願いします。
6	社内で統一的な指導や管理が困難	契約担当者等が複数拠点に跨り複数いるため統一的運用が困難であり、担当者の判断に委ねているところがある。	サプライヤ社内にて各種説明資料や問合せ方法（HP掲載情報）の共有をしていただき社内での啓発をお願いします。

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2-4.紙請求書削減のお願い

- 以上の実態や理由を踏まえ、以下の実施をお願いいたします。

#	依頼事項
1	オンライン対応できるもの（PO番号がある案件）は**SBNで請求処理（請求登録）**をお願いします。 （重複して紙請求書の送付は不要です。）
2	オンラインで受注している（PO番号がある）が、サプライヤ側の事情によりやむを得ず請求書を送付する場合は、二重請求・二重払い防止の観点からも、**紙請求書へPO番号の記載**にご協力お願いします。



※請求登録の手順は、以下に掲載しているマニュアル『請求登録について』をご参照ください。
(https://www.nttexc.co.jp/nttg_proc/documents/index.html)

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

（参考）サプライヤからの質問例（紙請求書関連）

#	問合せ内容	回答
1	年間契約案件について毎月請求支払処理を行っている。 毎月の契約金額は定額に郵送費等従量分を付加している。 請求処理をオンライン化した場合、請求登録画面で過去分の請求情報について閲覧は可能か。	該当の注文書内に表示されている関連ドキュメントから閲覧可能です。
2	請求登録画面で請求書以外の関連書類（証跡資料等）を添付することは可能か。 また業務完了報告、押印管理簿等も添付することは可能か。	はい、可能です。 （Ariba利用手引　請求登録編　P14「1.請求登録の実施手順(3/6)」に添付方法が記載されています）
3	以前から契約が継続しておりオフラインで契約締結しているものや、法令遵守の観点等からやむを得ず紙請求書を発行する必要があるものもオンライン化徹底ということになるのか。	現状オフラインのもの等やむを得ず紙請求書で対応すべき案件については、紙請求書送付いただくことで構いません。 その際にはお手数ですが、請求書のPO番号の記載にご協力ください。
4	契約金額の中で内訳ごとに税区分が異なるものがある場合もオンラインでの請求登録で対応できるのか。	基本的には、バイヤ側でPO作成時に、税区分が異なるものは明細を分けて登録することとなっています。 PO番号内で明細NOが分かれておりますので、 明細NOごとに税区分を投入していただくことになるので異なる税区分のものがあっても対応できます。 （税区分が内税の場合は、インボイス制度に対応するためにオンラインでの請求登録時に適格請求書をPDFで添付していただく必要があります）

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

各種マニュアル等掲載・問合せ方法のご案内

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

3-1.各種マニュアル　掲載場所

●各種説明資料等
https://www.nttexc.co.jp/nttg_proc/documents/index.html

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

3-2.お問い合わせ先等

- SBN登録完了後の、Aribaに関するお問い合わせ対応等は、以下のサイトに資料を掲載しておりますのでご覧ください。

サプライヤ様向けマニュアルサイト
https://www.nttexc.co.jp/nttg_proc/documents/

サイトにアクセスいただき、「お問い合わせ先」をご確認ください。

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

（参考）質疑応答

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

（参考）説明会当日の質疑応答内容

	質問	回答
1	やむを得ず紙請求書でPO番号を請求書に記載する場合というのは、マニュアル等に記載はされていないが今後マニュアルに反映するのか。	マニュアルは想定していたレギュラーな内容について記載している、紙請求書はイレギュラーな対応でありこれまで紙請求書対応に関する事項はマニュアルには掲載していない、今後必要か否かも含め検討していきたいと思います。
2	オンラインでの請求登録の場合、税区分が異なるものも対応できると資料に記載があるが、インボイス制度では内税のものは適格請求書をサプライヤが作成し添付となっているがその認識で間違いはないのか。	ご認識のとおりNTTグループにおけるインボイス制度に関するルールに準じて対応してください。 （税区分が内税の場合は、インボイス制度に対応するためにオンラインでの請求登録時に適格請求書をPDFで添付していただく必要があります。）
3	請求書を請求登録時添付の場合、オンライン上入力の部分は請求番号や請求日で、金額はデフォルトのままだと思うが、添付した異なる金額の請求書が有効となり処理されるという認識でよいか。 請求書を添付し請求登録したらオンライン処理したという認識でよいか。	オンラインでの請求情報と、添付した請求書の請求情報（金額等）が異なっている場合、オンラインでの請求情報が優先されます。 （「SAP Business Network に関する利用条件」第8条7項　参照） また、オンラインでの請求登録においては、請求書の添付は必須ではございません。
4	検収時、支払い側で検収サインをして書類を返すことが必要と社内で聞いているが、そのあたりをオンラインで対応できるなどの情報があれば教えてほしい。 （検収時の作業完了報告書等への支払い側のサインをもらうことが必要な場合のオンラインでの対応について）	バイヤ側で検収した際には、SBN上で受領書が表示されますので、受領書をご確認ください。 （詳しくは、Ariba利用手引_検収通知編のP7をご確認ください） また、役務の場合には、検収完了通知メールを発出いたしますので、併せてご確認ください。
5	「2-3.紙請求書送付の実態（サプライヤからの声）」3項目について 自社独自経理システム利用している場合は、請求登録時に発行された請求書を添付して請求処理を実施してくださいというイメージで記載しているのか。	SBN請求登録時に請求書添付するというのは必須ではありません。 自社独自経理システムで請求書が発行されるという流れがある場合、その請求書については発送ではなくPDFで添付していただければよい、という一例で記載しています。

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

改訂履歴

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

改訂履歴

項番	更新日	改訂箇所	改訂概要	版数
1	2024/6/26	--	第1版展開	1.0
2	2024/6/26	・P.7 ・P.8 ・P.11	・ソーシング 図版中の矢印の欠落の修正 ・最下段　※以下の注釈文修正 ・本文の誤植の修正	1.1
3	2025/2/28	・P.15,P.18	・各種説明資料URL変更	1.2
4	2025/9/26	P.19	・メールドメイン修正	1.3
5	2025/10/17	P.19	・お問い合わせ先更新 3ページ削除、合計23ページへ変更	1.4

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.